

特集

輸出額の伸び低く・輸入額は前年より減少

～ 平成 20 年 福岡市の外国貿易 ～

平成20年外国貿易年表が、門司税関から5月に公表されましたので、博多港（博多税関支署）と福岡空港（福岡空港税関支署）における貿易の概要を紹介します。【注】

1. 概況

平成20年の両港における輸出額は2兆4,117億円（対前年増加率2.7%）で、過去最高となっていますが、増加率は昨年（同24.4%）と比較して大幅に減少しました。

港別に見ると、博多港は1兆6,601億円

（同7.2%）と昨年に引き続き増加しましたが、福岡空港は7,516億円（同△6.0%）で昨年より減少しています。

両港における輸入額は、1兆3,461億円（同△6.5%）で減少に転じました。

港別に見ると、博多港は8,950億円（同△2.6%）、福岡空港は4,510億円（同△13.2%）となっており、特に福岡空港の減少が目立っています。

貿易収支については、1兆656億円の輸出超過となっています。（図1、表1）

図1 貿易額の推移

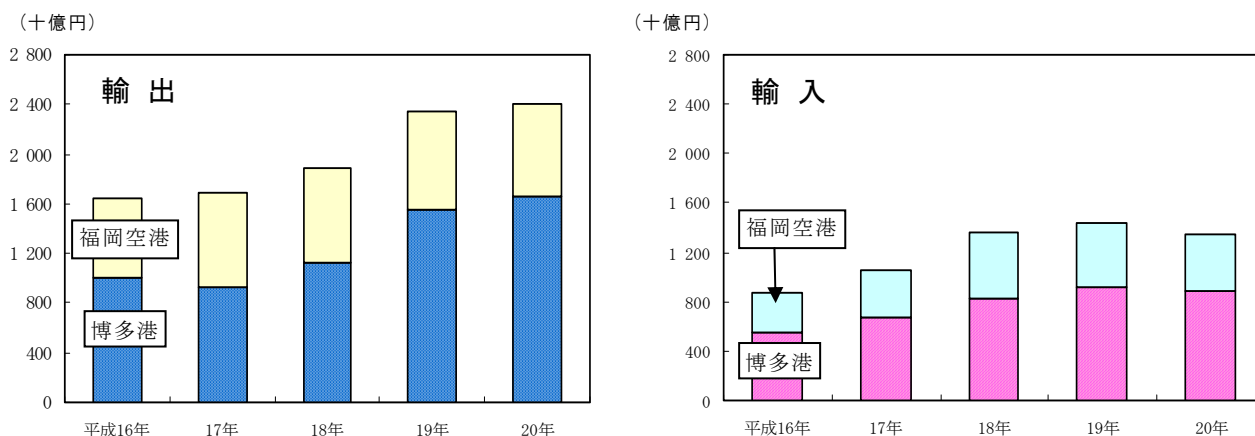


表1 貿易額の推移

(単位：百万円，%)

年	両税関支署計				博多港 (博多税関支署)				福岡空港 (福岡空港税関支署)			
	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率
平成16年	1 640 575	9.7	865 786	10.0	1 011 800	30.3	557 089	11.2	628 775	△ 12.6	308 698	7.9
17年	1 692 394	3.2	1 061 284	22.6	922 889	△ 8.8	669 433	20.2	769 505	22.4	391 851	26.9
18年	1 886 592	11.5	1 362 290	28.4	1 130 981	22.5	823 262	23.0	755 610	△ 1.8	539 028	37.6
19年	2 347 763	24.4	1 438 995	5.6	1 548 568	36.9	919 269	11.7	799 195	5.8	519 726	△ 3.6
20年	2 411 680	2.7	1 346 074	△ 6.5	1 660 071	7.2	895 048	△ 2.6	751 609	△ 6.0	451 026	△ 13.2

【注】 文中、表中及び図中の「博多港」とは博多税関支署において、「福岡空港」とは福岡空港税関支署において、それぞれ通関手続きが行われた輸出申告書及び輸入申告書に基づいた数値を表しています。なお、通関手続きが行われた税関と積出港とは必ずしも一致しません。

2. 輸出

自動車等の中国向け輸出が伸びる

輸出品別に輸出額を見ると、最も多いのは昨年に引き続き機械類及び輸送用機器類で、1兆5,245億円（構成比63.2%）となっています。（表2、図2）

博多港では、半導体等電子部品が昨年より0.4%減少の2,759億円（同16.6%）となりましたが、依然として構成比第1位となっています。ただ、中国向け輸出

が伸びた自動車が対前年増加率9.0%の2,589億円（同15.6%）となっており、差が縮まっています。また、再輸出品が対前年増加率63.0%の1,615億円（同9.7%）と大きく伸びていますが、その8割が中国向けです。

福岡空港では、半導体等電子部品が昨年より10.4%減少の3,538億円（同47.1%）となったものの、依然として全体の約5割を占めています。（表3）

表2 輸出品別輸出額

(単位：百万円，%)

品名	両税関支署計			
	平成20年			平成19年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	2 411 680	100.0	2.7	2 347 764
食料品及び動物	20 941	0.9	0.6	20 816
飲料及びたばこ	742	0.0	△ 48.0	1 427
食料に適さない原材料	17 238	0.7	14.7	15 029
鉱物性燃料	102	0.0	△ 64.5	288
動植物性油脂	45	0.0	70.7	27
化学製品	196 679	8.2	1.5	193 815
原料別製品	286 085	11.9	△ 0.2	286 682
うちゴムタイヤ及びチューブ	225 610	9.4	△ 2.5	231 379
機械類及び輸送用機器類	1 524 493	63.2	△ 0.3	1 529 405
うち半導体等電子部品	629 717	26.1	△ 6.3	671 988
うち自動車	258 854	10.7	9.0	237 412
雑製品	104 691	4.3	△ 0.1	104 766
特殊取扱品	260 664	10.8	33.3	195 509
うち再輸出品	220 813	9.2	39.1	158 799

図2 輸出品目別構成比
(両税関支署計)

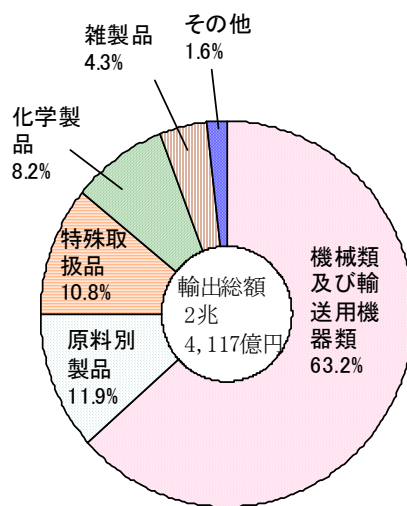


表3 輸出品別輸出額 (税関支署別)

(単位：百万円，%)

品名	博多港 (博多税関支署)				福岡空港 (福岡空港税関支署)			
	平成20年			平成19年	平成20年			平成19年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	1 660 071	100.0	7.2	1 548 568	751 609	100.0	△ 6.0	799 195
食料品及び動物	14 446	0.9	9.1	13 244	6 495	0.9	△ 14.2	7 572
飲料及びたばこ	597	0.0	△ 51.9	1 243	144	0.0	△ 21.7	184
食料に適さない原材料	16 765	1.0	14.0	14 703	473	0.1	45.0	326
鉱物性燃料	95	0.0	△ 63.5	261	7	0.0	△ 74.8	27
動植物性油脂	35	0.0	103.0	17	10	0.0	9.5	9
化学製品	102 993	6.2	7.9	95 409	93 686	12.5	△ 4.8	98 406
原料別製品	268 124	16.2	△ 1.6	272 384	17 961	2.4	25.6	14 298
うちゴムタイヤ及びチューブ	223 945	13.5	△ 2.4	229 460	1 665	0.2	△ 13.2	1 918
機械類及び輸送用機器類	1 012 108	61.0	4.0	972 716	512 385	68.2	△ 8.0	556 689
うち半導体等電子部品	275 875	16.6	△ 0.4	277 039	353 842	47.1	△ 10.4	394 949
うち自動車	258 854	15.6	9.0	237 412	—	—	—	—
雑製品	81 005	4.9	5.2	76 979	23 685	3.2	△ 14.8	27 787
特殊取扱品	163 901	9.9	61.3	101 612	96 763	12.9	3.1	93 897
うち再輸出品	161 494	9.7	63.0	99 105	59 319	7.9	△ 0.6	59 694

3. 輸入

半導体等電子部品等が大幅に減少

輸入品別に輸入額を見ると、機械類及び輸送用機器類が昨年より12.4%減少の5,838億円（構成比43.4%）と大幅に落ち込んだものの、なお全体の4割以上を占めています。（表4、図3）

港別で見ると、博多港では、魚介類（生鮮・冷凍）が対前年増加率17.4%の740億円（同8.3%）となっています。一方で、科学光学機器が昨年より74.4%減少の103億円（同1.1%）、昨年輸入総額のほぼ

1割を占めていた半導体等電子部品は48.4%減少の457億円（同5.1%）と大幅に落ち込んでいます。

福岡空港では、機械類及び輸送用機器類が3,242億円（同71.9%）で、全体の7割以上を占めています。中でも半導体等電子部品が1,802億円（同39.9%）で全体の4割近くを占めていますが、同品が昨年より△26.9%と大幅に減少したことから、福岡空港全体の輸入総額も13.2%の減少となっています。（表5）

表4 輸入品別輸入額

品名	(単位：百万円，%)			
	両税関支署計			
	平成20年		対前年 増加率	平成19年
輸入額	構成比	輸入額		
総額	1 346 074	100.0	△ 6.5	1 438 995
食料品及び動物	261 857	19.5	13.9	229 974
うち魚介類（生鮮・冷凍）	83 906	6.2	20.4	69 681
飲料及びたばこ	3 561	0.3	△ 8.8	3 906
食料に適さない原材料	83 912	6.2	19.2	70 375
鉱物性燃料	25 383	1.9	32.5	19 152
動植物性油脂	1 110	0.1	8.6	1 022
化学製品	66 558	4.9	△ 2.2	68 087
原料別製品	110 883	8.2	8.1	102 582
機械類及び輸送用機器類	583 789	43.4	△ 12.4	666 747
うち半導体等電子部品	225 823	16.8	△ 32.6	334 895
雑製品	171 952	12.8	△ 22.3	221 228
うち家具	33 835	2.5	△ 4.1	35 291
うち科学光学機器	44 917	3.3	△ 30.0	64 131
特殊取扱品	37 069	2.8	△ 33.7	55 922

図3 輸入品目別構成比
(両税関支署計)

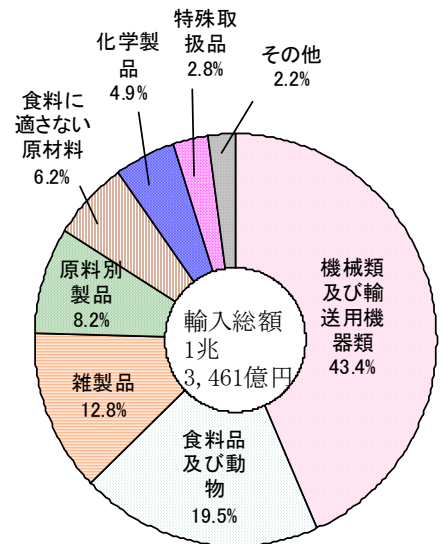


表5 輸入品別輸入額 (税関支署別)

品名	(単位：百万円，%)							
	博多港（博多税関支署）		福岡空港（福岡空港税関支署）					
	平成20年		平成19年	平成20年		平成19年		
輸入額	構成比	対前年 増加率	輸入額	輸入額	構成比	対前年 増加率	輸入額	
総額	895 048	100.0	△ 2.6	919 269	451 026	100.0	△ 13.2	519 726
食料品及び動物	250 957	28.0	13.1	221 921	10 900	2.4	35.3	8 054
うち魚介類（生鮮・冷凍）	74 021	8.3	17.4	63 055	9 885	2.2	49.2	6 625
飲料及びたばこ	3 233	0.4	△ 9.4	3 568	328	0.1	△ 2.9	338
食料に適さない原材料	78 397	8.8	18.1	66 403	5 515	1.2	38.8	3 972
鉱物性燃料	25 314	2.8	33.8	18 921	69	0.0	△ 70.1	231
動植物性油脂	1 102	0.1	9.6	1 006	8	0.0	△ 50.2	16
化学製品	54 895	6.1	2.1	53 777	11 662	2.6	△ 18.5	14 310
原料別製品	101 041	11.3	8.1	93 435	9 843	2.2	7.6	9 147
機械類及び輸送用機器類	259 567	29.0	△ 7.3	279 952	324 222	71.9	△ 16.2	386 795
うち半導体等電子部品	45 666	5.1	△ 48.4	88 480	180 158	39.9	△ 26.9	246 416
雑製品	112 179	12.5	△ 34.4	170 999	59 774	13.3	19.0	50 229
うち家具	33 491	3.7	△ 4.2	34 966	344	0.1	5.6	325
うち科学光学機器	10 275	1.1	△ 74.4	40 073	34 642	7.7	44.0	24 059
特殊取扱品	8 363	0.9	△ 10.0	9 288	28 706	6.4	△ 38.4	46 634

4. 貿易の相手国

輸出入とも中国がトップを維持

相手国別に輸出入額を見ると、輸出額では、中国が対前年増加率 18.8% の 8,029 億円（構成比 33.3%）となっています。輸出総額は対前年増加率 2.7% の 2 兆 4,117 億円となっていますが、中国以外の主要相手国は、韓国が昨年より 11.6% 減少の 3,346 億円（同 13.9%）、香港が 16.6% 減少の 977 億円（同 4.1%）などいずれも落ち込んでおり、中国向け輸出の重要性が高まっていることがうかがえます。

輸入額でも、中国が昨年より 8.4% 減少

したものの 3,668 億円（同 27.2%）と最も大きく、以下、韓国が 31.8% 減少の 2,014 億円（同 15.0%）、アメリカが 5.1% 減少の 1,866 億円（同 13.9%）となっています。（表 6・7）

近年の推移を見ると、中国への輸出額は一貫して伸び続けており、4 年前（平成 16 年）の 5.4 倍となっています。対中国の貿易収支は 4,361 億円の輸出超過で、両税関の輸出超過額の 4 割を占めています。

【資料提供】

門司税関調査部調査統計課

<http://www.customs.go.jp/moji/>

図 4 主要相手国の貿易額の推移（両税関支署計）

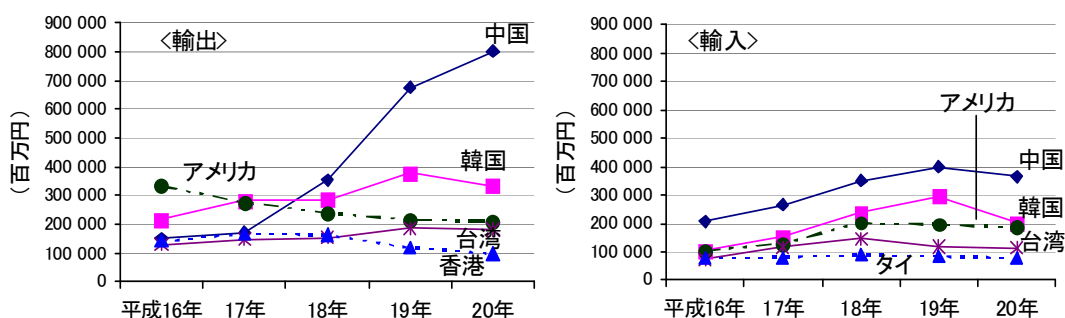


表 6 輸出国別輸出額の推移（両税関支署計）

（単位：百万円，%）

国・地域	平成20年	構成比	対前年増加率	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年
総額	2 411 680	100.0	2.7	2 347 764	1 886 592	1 692 394	1 640 575
中華人民共和国	802 891	33.3	18.8	675 931	354 431	170 326	149 723
大韓民国	334 560	13.9	△ 11.6	378 511	284 585	281 631	215 346
アメリカ合衆国	211 118	8.8	△ 2.3	216 014	239 474	276 475	331 613
台湾	182 605	7.6	△ 1.3	184 928	154 861	146 956	129 367
香港	97 697	4.1	△ 16.6	117 073	164 062	168 351	140 076
その他	782 809	32.5	1.0	775 306	689 179	648 655	674 451

表 7 輸入国別輸入額の推移（両税関支署計）

（単位：百万円，%）

国・地域	平成20年	構成比	対前年増加率	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年
総額	1 346 074	100.0	△ 6.5	1 438 995	1 362 290	1 061 284	865 786
中華人民共和国	366 784	27.2	△ 8.4	400 267	351 208	267 202	208 350
大韓民国	201 379	15.0	△ 31.8	295 222	236 409	153 019	105 379
アメリカ合衆国	186 602	13.9	△ 5.1	196 561	202 379	129 053	104 225
台湾	113 870	8.5	△ 3.8	118 309	146 418	117 087	75 365
タイ	79 784	5.9	△ 4.2	83 242	88 181	81 786	78 261
その他	397 654	29.5	15.1	345 395	337 697	313 137	294 206